学校番号	１００４

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	MOUSA ２（教育芸術社）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「音楽をつくること」の４つの分野を年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや確認テスト、実技テストで評価します。
・個人やグループで相互的に発表しあい、お互いを評価しあう活動を取り入れます。
・一人ひとりの音楽力を向上させ、小アンサンブルやグループ合奏で得られる喜びや楽しさを味わいます。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう	【歌唱】 ・校歌 ・Alleluja ・「ヴォイス・トレーニング」 ・Funiculì-Funiculà	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取
	リズムにのってアンサンブルをしよう	【器楽】 ・ソルフェージュ(リズム) ・Prelude Ⅲ ・シンコペーテッド・クロック	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や，他者との調和を意識して演奏することに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート グループワーク 観察	観察 演奏の聴取

	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	【器楽】 ・夏は来りぬ ・冬 ・ソナチネ	a:【知】曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート ペアワーク 観察	観察 演奏の聴取
	音楽を形づくっている要素に注目して，曲のよさや美しさを探ろう	【鑑賞】 「音楽を織りなすさまざまな要素」/〈四季〉から〈冬〉 ・《ブエノスアイレスの冬》 ・交響曲第 41 番《ジュピター》から第4楽章 ・《ツィガーヌ》 ・《ハンガリアン・ロック》 ・弦楽六重奏のための《180 beats per minute》	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察 レポート

2	ポップスの特徴を理解して歌おう	【歌唱】 ・SUN ・歩いて帰ろう ・One more time, One more chance ・糸 ・ハナミズキ	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取
	表現を工夫してギターやウクレレを演奏しよう	【器楽】 ギター ・天体観測 ・愛のロマンス ・Tears In Heaven	a:【知】曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c：曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート グループワーク 観察	観察 演奏の聴取

	和楽器に親しみ，表現を工夫して演奏しよう	【器楽】 三線 ・ 涙そうそう ・安里屋ユンタ 箏 ・〈一段〉	a:【知】曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c 曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート グループワーク 観察	観察 演奏の聴取
	ミュージカル・ナンバーを歌おう	【歌唱】 ・The Phantom of the Opera ・All I Ask of You 【鑑賞】 ・ミュージカル《オペラ座の怪人》	a:【知①】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【知②】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b:【思①】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【思②】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:【態①】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【態②】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取

	映画音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 ・「映画を彩る音楽」 ・「映画音楽を聴こう 映画『ハリー・ポッターと賢者の石』」	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察 レポート
3	日本や諸外国の歌曲に親しみ，表現を工夫して独唱しよう	【歌唱】 ・誰かがちいさなベルをおす ・浜辺の歌 ・からたちの花/「からたちの花大解剖！」 ・Nel cor più non mi sento ・Vaga luna, che inargenti ・ Sehnsucht nach dem Frühlinge 【鑑賞】 ・連作歌曲集《冬の旅》	a:【知①】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【知②】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 b:【思①】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【思②】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:【態①】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【態②】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取

	構成を工夫した作品作り	【創作】 ・「構成を工夫して作品をつくろう」	a：【知】音素材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能，及び旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け，創作で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c：音素材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち，主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 観察	発表 グループ ワーク 振り返り シート	観察 発表 ワーク シート

	世界の諸民族の音楽を知ろう	【鑑賞】 【器楽】 ・The Phantom of the Opera ・All I Ask of You ・ミュージカル《オペラ座の怪人》	a:【知①】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【知②】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b:【思①】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 【思②】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:【態①】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【態②】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度